

(様式 1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1	施設名	(所管課)			
	富山県総合運動公園	都市計画課			
2	施設所在地				
	富山市南中田				
3	施設設置年度				
	平成 5	年度			
4	設置目的				
	平成12年に開催された2000年とやま国体のメイン会場として整備された県内最大級の運動公園				
5	施設概要				
	敷地面積：46.0ha 主な施設 ・陸上競技場：37,344㎡ 400mトラック9コース、インフィールド芝生舗装（106×70m） 観客席約25,000人収容可能 ・補助競技場：23,598㎡ 400mトラック7コース ・屋内グラウンド：6,354㎡ ・芝生スポーツ広場：12,630㎡ ・多目的広場：軟式野球場2面等 38,000㎡ ・クロスカントリーコース：2.1km				
6	指定管理者				
	公益財団法人富山県民福祉公園				
7	指定期間				
	5	年			
	令和4年4月1日	～ 令和9年3月31日			
8	利用者数及び利用（使用）料金収入の状況				
(1)	利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加				
	R3	R4	R5	R6	R7
	690,456	769,460	782,158	813,445	778,187
(2)	利用（使用）料金収入（千円）				
	R3	R4	R5	R6	R7
	21,394	25,205	26,652	29,160	30,425
(3)	利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）				
	R3	R4	R5	R6	R7
	19,591	23,175	23,175	23,175	23,984

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・利用者数は令和6年度比95.7%(35,258人減)、利用料金収入は令和6年度比104.3%(1,265千円増)となった。
- ・カタール・富山の試合数の減(3試合)や令和6年度の数十年ぶりの大規模音楽イベントの実施が利用者数減少の要因と考えられる。
- ・令和7年度より一部の許可業務が指定管理者に委任され、許可に係る公園使用料が利用料金として指定管理者の収入になったことが、利用料金収入増加の要因と考えられる。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・冬の施設利用促進イベントとして「KEN★SOUフェスティバル」を令和7年度に初めて開催した。
- ・利用料金支払いのキャッシュレス決済が可能になっている。
- ・とやまPK選手権、富山県50mダッシュ王選手権などのスポーツイベントを開催した。
- ・幅広い年齢層の公園利用を促進するため、フラワーエコガーデニング教室やスタジアムDEフィットネスなどのイベントを開催した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・令和7年度より、会議室利用について、新聞広告、WEB広告にてPRを実施した。
- ・令和7年度より、冬期積雪及び除雪状況をSNSにて配信した。
- ・利用者ニーズに合わせ、供用日、供用時間を弾力的に運用した。
- ・冬期間に人気が高い屋内グラウンドについては、12～2月に限り休園日も営業した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間:以下のイベントの際、参加者に記入していただいた。 ①ツリーイング体験会(4月20日) ②公園利用者アンケート春 (4月26日～6月1日 かがやきウォーク) ③樹木医と木間間にウォーク春(5月5日) ④スタジアムDEフィットネス(5月18日) ⑤第15回富山県50mダッシュ王選手権(9月16日) ⑥公園利用者アンケート秋 (10月1日～11月3日 かがやきウォーク) ⑦スタジアムDEフィットネス(10月18日) ⑧樹木医と木間間にウォーク秋(11月3日) ⑨メンタルトレーニング講座(1月18日) ⑩体幹トレーニング教室(1月18日) 実施方法:イベント参加者及び公園利用者へのアンケート調査 (WEB及び記入式)
回答者数	796人
結果	④スタジアムDEフィットネス内のノルディックウォーキング開催時にもっと長い距離を歩きたいと要望があった。
結果を踏まえた改善事項	⑦の開催時に長い距離を設定した。

②その他利用者の声を反映させる取組み

- ・利用者、大会利用団体からの要望等をヒアリングした。
- ・利用団体との運営会議を実施した。
- ・近隣地区5自治会代表などで構成する利用促進協議会を開催した。
- ・園内3か所に意見箱を設置した。

③主な苦情と対応

- ・愛犬家のマナーが悪い(フンの後始末)⇒注意看板を設置した。
- ・クロスカントリーコースの利用マナーが悪い(自転車の走行、ボール遊び)⇒注意看板を設置した。
- ・カターレ戦での騒音⇒主催者に苦情内容を報告した。
- ・カターレ戦での喫煙マナー⇒主催者に苦情内容を報告し、大型映像装置や場内放送での注意喚起を実施した。
- ・園内に流れている音楽(BGM)の音量が大きい⇒現在、利用者各自イヤホン等で音楽を聞いている方が多く、園内BGMを廃止とした。

(5)個人情報保護の取組み

個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6)関係団体との連携

- ・陸上競技場をホームスタジアムとするカターレ富山の公式戦や各種競技大会等の開催を全面的に協力した。
- ・スポーツクラブ等と連携し、「KEN★SOUフェスティバル」を開催した。

(7)施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8)危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・現在、総合運動公園内に新たな武道館を整備中(R9年度末完成予定)。
- ・今後とも、富山県のスポーツの中核施設として、利用の呼びかけやニーズ把握を積極的に行い、利用促進・利用者へのサービス向上に努めるとともに、全国規模の大会会場としてふさわしい施設の維持に努めてもらいたい。